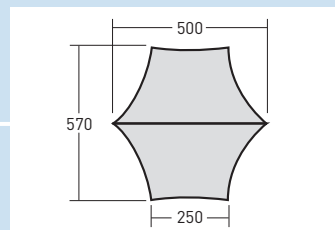




Field Tarp Hexa DX

3333-80

フィールドタープヘキサ DX



◆ご使用前に、「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

MADE IN VIETNAM

安全上のご注意

キャンプにてかける前によく読み、必ず一度建ててみてください。
▲記号は警告・注意の内容であることを示します。



警告

誤った取扱いをした時に、死亡または重症を負う可能性がある内容を示しています。

使用前に必ず取扱説明書を読み、一度組み立ててください。

キャンプにてかける前に、取扱説明書通りにポール・幕・付属品がセットされているかを確認し、必ず一度組み立ててください。まれに縫製上の不備やセットミスなどにより、タープが建てられない場合があります。タープを収納する時は、ペグ、張り綱、ポールなどのパーツの数量を確認してください。

海外で使用される場合は、事前に弊社の「お客様相談室」までご相談ください。

本製品は、日本国内での使用を前提としております。海外で使用し、事故などによりケガや損害が生じた場合、十分な対応ができません。

「取扱説明書」をお読みにになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

ここには安全上に関する重大な注意事項を示しています。製品を安全に正しくご使用頂き、危害や損害を未然に防止するために、必ず守ってください。

キャンプ場やキャンプ許可地域以外では使用しないでください。

キャンプ場以外でのキャンプは、基本的に禁じられています。また、熟知していない土地では、どのような危険がひそんでいるか分かりません。特に河原でのキャンプは、雨やダム放水などにより、急に増水することがあり危険です。

タープの下やタープの近くで花火やたき火をしたり、ランタン・キャンドル等の火器や燃焼器具を使用しないでください。

- タープにほどこされている防水加工生地は、熱に弱く、燃えやすくなっています。
- 突風などによりポールが倒れ、タープが上からかぶり、引火する危険があります。
- 火器を使用した場合、タープが燃えたり、ヤケドなどの原因になります。
- タープ下で使用する照明はバッテリー式のランタンや懐中電灯を使用してください。



注意

誤った取扱いをした時に、人が傷害を負ったり物的損害の可能性のある内容を示しています。

ポールを扱う場合には、周囲に十分気を配りながら、事故やケガなどないように設置してください。

ポールは細く長いので、周囲にいる人(特に子供)の目に刺さったり、車などにキズつける可能性があります。

通行する人の妨げにならないようにタープを設置してください。

通行する人が、張り綱などを避けようと無理な通行をして、ケガの原因になることがあります。昼夜を問わず、通行する人が分かるような目印を張り綱に付けたり、タープのそばに通路を確保してください。

張り綱は指定された数を、きちんと張ってください。また、ペグはしっかり打ってください。

風でタープが飛ばされたり、水が溜まってタープが濡れる危険があります。タープが吹き飛ばされた場合には、人や車、他のテントなどに当たって大きな損害になる可能性があります。また、ペグの頭が地面に触れるまで、しっかり打ち込んでください。ただし、設置する地面の状況や地質に応じてご使用ください。

就寝時や、強風時、雨天時にはタープを倒した状態にし、しっかり固定しておくか、畳んでください。

夜間、急に天候が変わることがあります。そのため、強風で外れたタープや倒れたポールなどでタープの下の道具が壊れたり、雨水が溜まってタープが濡れる危険があります。

タープをペグ、張り綱で固定する前は、突風などでタープが飛ばされないように注意してください。

周囲で火気を使用している場合、飛ばされたタープに引火する危険があります。

付属のペグ、張り綱をすべて使用し、タープがたるまないように組み立ててください。

タープ生地がたるんでいる状態では、雨天時、天井などに溜まった雨水でタープが濡れたり、風の力が余計にかかって飛ばされる原因になることがあります。ペグは根本まで地面に打ち込み、張り綱は強いテンション(張力)を保つようにしてください。

タープを無人の状態でも長時間、放置しないでください。

急な天候の変化等により、タープが濡れたり、飛ばされる可能性があります。その場から長時間離れる場合はタープを倒して、飛ばされないよう重りを載せるなどしてください。

台風や落雷の時には、キャンプ場の管理担当者の指示に従い、安全な場所に避難してください。

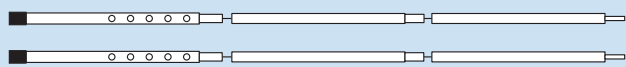
悪天候が予想される状況下で、キャンプを強行する事は非常に危険です。また、悪天候の時には、タープの下は安全な場所ではありません。台風など強風が吹いている場合には、タープを設置しないでください。もし、設置している場合には、すぐに撤収してください。また雷雨時は、タープやポールに落雷する可能性もあり危険です。なお、キャンプ場内の避難場所は、必ず事前に確認しておいてください。

フィールドタープ ヘキサDX / 組み立て方法

△ 強風時のご注意 | 強風に備えて、各部のフック・バックル・張り綱はしっかり固定してください。
また、タープが大きく歪んでしまう強風時には、速やかに撤収してください。

1. パーツを確認します

幕体と下記のパーツがセットされているか確認します。



ラチェットポール / 2本



ブラベグ(大) / 4本
ブラベグ(小) / 4本



ハンマー / 1本

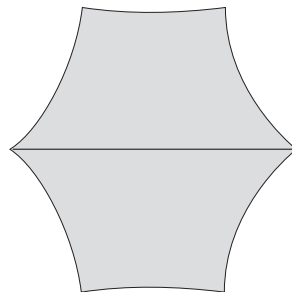


張り綱(長) / 4本
張り綱(短) / 4本

※張り綱は、長い4本が頂上用、短い4本が側面用です。

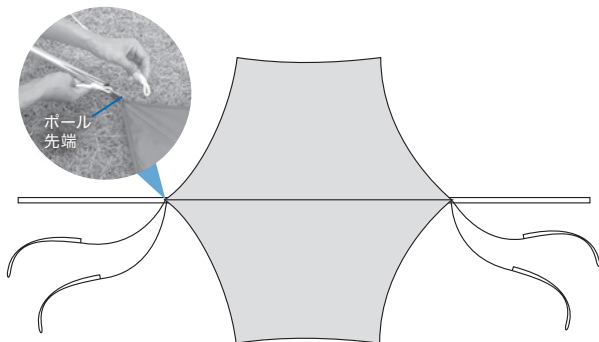
2. 幕体を広げます

平らな場所を選び、幕体を地面に広げます。
設営後は幕体の大きさよりも広いスペースが必要になりますので、周囲に余裕をみて位置を決めます。



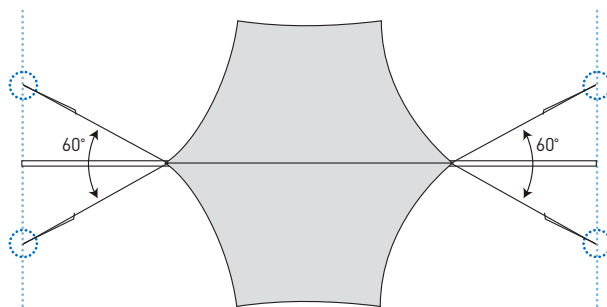
3. ポールを配置し、張り綱を取り付けます

ジョイントを接続したポールを幕体の中心の延長線上に配置し、ポールの先端部を、それぞれタープ前方のハトメと、後方のハトメに差し込みます。次に長い張り綱の一端をループになるように結び、ポールの先端に2本ずつ引っ掛けておきます。



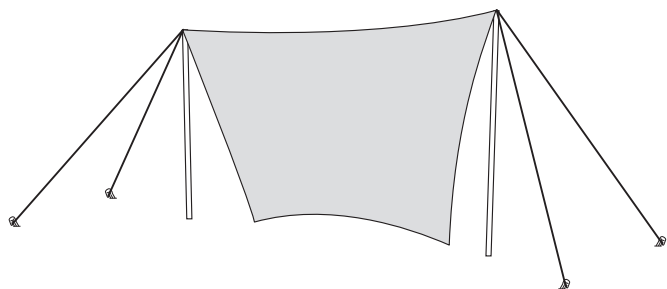
4. ベグを打ち込みます

ポールの長さと同じ位置に、張り綱の長さを調節します。次に、ポールを中心として60度の角度の場所にベグを打ち込み、張り綱をかけておきます。



5. ポールを立ち上げます

ポールがまっすぐ立つように片側ずつ張り綱の長さを調節しながら立てていきます。逆側も同じように立てます。この時、先に立てた方を誰かが支えておくようにします。2本とも立ったらロープの長さを、幕体がピンと張るように調節します。



6. 張り綱を調整し完成です

側面の裾部のハトメにも短い張り綱を1本ずつ結び付け、ベグで固定します。ベグはコーナーの対角線の延長線上で、幕体に一番シワがでない位置に打ち付けます。全て固定したら、ポールの位置や張り綱の長さを再度調整し完成です。

